

野田市の回国塔と鳴村庄蔵の納経帳

石田年子

はじめに

らの塔から江戸期の回国行と、それに纏わる地元民の動きなどを探つてみたい。

六十六部回国とは、日本全国六六カ国の主要な寺社に法華経を奉納して回る巡礼のことである。これらを行う宗教者は六十六部行者、六部行者、回国聖などと呼ばれている。中世には小型の銅製経筒に経を詰めて塚に埋めることができがなされており、現代においても稀に古寺の発掘調査等の折に経筒が発見されることがある。

近世に入ると、回国行には特別な僧だけでなく、発心した一般の人々の参入も増え、それまでの埋納方式から回国が成就後に「回国塔」を造立するという方式が主流となつて行く。これにより、全国津々浦々の寺社や墓地に回国塔の造立がなされることとなつた。

全国に遺存する回国塔の情報収集を行なつてゐるノートルダム清心女子大教授・小嶋博巳氏の二〇一三年における発表では、八七〇〇基あまりの回国塔数の報告があり、千葉県で千基以上の塔が確認されている。これは全国的にみると最多であり、江戸期において房総は回国の盛んな地域であつたことが判る。管見の調査で、その回国塔が野田市内に一一二基あることを確認しており、一自治体としては非常に多い造立数である。これ

一、野田市回国塔の詳細

回国行者といえば、仏像を祀つた笈よしを背負い聖地を巡拝して回る姿で知られている。回国塔の銘文には「奉納日本回国六十六部成就」「奉納大乘妙典六十六部成就」などの決まり文句と同時に、「天下泰平・国土安全・日月清明・五穀成就」など日本国の平和を祈る文言もセットで刻まれることが特徴で、單なる巡礼とは信仰の有り様が異なる側面がある。

野田市内には回国塔が宝永二年（一七〇五）から明治二七年（一八九四）の間に一一二基ほど残されており、その一覧は表1のとおりである。回国塔といつてもその造立理由が多岐に亘ることから、目的別に左記に事例を記す。

1. 回国成就の供養

野田市内から回国の旅に出て、成就後に帰郷して回国塔を造立したと推測されるものはそのうち七五基あり、帰郷後すぐに回国塔を造立する場合と逝去後に墓石として造立するケースがある。回国塔は、自己修行の為のものが五〇基、自

己修行とともに両親や身内の供養を目的としたものが一五基ある。さらに、夫婦で回国を行つたと推察されるものが三基あるなど、銘文から多様の内容が読み取れる。

① 野田市最古の回国塔

野田市において初出の回国塔は、尾崎地区・威徳院の門前に建つもので大日如来坐像（胎蔵界）を刻む笠付型石塔である。宝永二年（一七〇五）九月に城近法師が万人講の助力を得て造立したもので、日本六六ヶ国のほかに西国坂東秩父百觀音靈場と四国八八ヶ所靈場の順札も果たしている。この法師が地元出身の人物であるか否かは不明であるが、千葉県の近世における回国塔としては五番目に古い造立である。



尾崎・威徳院の回国塔

- ② 村役人の回国塔
船形地区で名主を務めたA家の墓所に建つ善右衛門夫妻の墓石には、正面に「奉納大乘妙典六十六部日本廻国大願成就所」と回国塔の文言が刻まれており、宝永五年（一七〇八）に善右衛門が回国を成就したことが記されている。善右衛門が隠居後に回国の旅に出たものと思われ、法名の末尾に「法師」とあることから回国の前後に出来たことが判る。
- ③ 親族供養の回国塔
塔の銘文中に、「二親菩提」や数人の法名が刻まれたものがあり、回国の目的の一つに両親や親族の供養が含まれてい

たと思われる。野田市内の墓石には、故人が行つた百觀音靈場や四国靈場への順札実績を刻んだものが散見され、故人の行なつた修行を刻むことで成仏を期待する趣意が判る。

④ 夫妻の回国塔（1）

明らかに夫婦で回国を行なつたと判る石塔が三基遺存している。回国行者の定め書きである『東叡山御定目』に「回国修業ハ同行女ハ勿論、尼僧タリ共連レ間敷キ事：」とあるが、江戸も中期以降になると夫婦の回国者は増えるようである。

木間ヶ瀬地区出洲の水神社境内に造立された宝暦六年（一七五六）の回国塔は、地元・木村家の祐心、妙真夫妻が造立したものである。銘文中に「奉納大乘妙典如意成就之供養/秩父坂東西国四国」とあり、二人は全国を回国した訳ではなく、百觀音靈場と四国靈場を納経して回つたのではなかろうか。

⑤ 夫妻の回国塔（2）

木間ヶ瀬地区武者土の路傍に、庚申塔など五基の石仏が建つ場所がある。ここは大日堂という修驗寺跡で、石仏はその関連遺物とされ、その中の一基は安政四年（一八五七）に香取郡飯島村（現香取市飯島）の夫妻が造立した回国塔である。現在は表面が剥落するなど劣化が激しいが、側面には回国塔造立の目的が刻まれている。一〇年ほど前に筆者が辛うじて読み取った銘文は

「北總香取郡飯島村秋元源五左衛門者木間ヶ瀬村飯塚新田に善右衛門が回国を成就したことが記されている。善右衛門妻老意思佛道相共巡拝諸國靈場受納經印證數歲而皈焉夫師」とあることから回国の前後に出来たことが判る。

□後嘉永元年戊申剃髪カ授戒干當山従之為□當吾果建石以即誌四因敬持事 安政四丁巳年 施主淨徳

と刻まれている。「木間ヶ瀬村・石田家から養子に出て香取郡飯島村の秋元家を継いだ源五衛門が老年を迎へ、妻よしと

共に回国の旅に出る。数年かけて諸国靈場を回り終え、帰郷後、嘉永元年（一八四八）に故郷である木間ヶ瀬村の大日堂で剃髪し、「回国塔を建てた」と記されている。

2. 回国行者の供養塔

回国塔の銘文に命日・出身地・俗名・施主などが刻まれた、明らかに先の「回国成就」とは雰囲気が異なり行者の供養塔（墓石）と思われるものが一八基ある。それらの回国塔は回国の途中で病に倒れた行者の供養塔、回国を終了して当地に留まり庵や堂の堂守となつて逝去した行者の墓石、かつて回国を成就した住職の墓石に実績を彫り込んだ事例など様々である。

野田市内には、表2で示すように、他国から宗教者が多数訪れ、この地に住みついて亡くなつた人々の痕跡が多い。村には寮施設が多く、他国から訪れた宗教者が暮らしやすい土地柄であつたようだ。

① 津和野から来た回国行者

木間ヶ瀬地区新宿の流山街道に面した観音坊墓地は、江戸期に名主を務めた旧家が所有していた古い墓地で（現・共同墓地）、かつてここに観音堂と呼ばれたお堂が建つていた。この墓地の一角には、観音堂に住みついて余生をおくつた下級の宗教者達の墓石が数基残されており、その一基に「生國石見國津和野者而回国修行相納候處當所到觀音堂守七十三而寬保三亥六月十三日寂依之石塔造立仕者也」の銘文が刻まれている。法名は本譽覺入大徳とあり回国行者として各地を遊行した後、故郷に帰ることなく当地で晩年を過ごした人物のようである。

② 佐渡島から来た回国行者

先の墓石に隣接する石塔の台石には「出生ハ佐渡國賀茂郡片上村・本間右京男回国修行ヲ相納メ當所ニ到リ住イ居リ/行年六十二歳/天明七丁未年十月廿四日寂/之ニ依リテ石塔ヲ造立仕ル者ナリ/地代文金壹両之ヲ附ク」と

刻まれている。文調は先の銘文に倣つたのであろうが、この台座に刻まれている人物の出身地と名前を手がかりに佐渡市立佐渡博物館に問い合わせ、片上村が現在の佐渡市新穂・潟上で、現在のトキ保護センター周辺の地域であることが判つた。また、「本間右京」とは能楽の佐渡宝生流宗家である吾潟の本間家が代々襲名した名であり、観音堂で生涯を閉じたこの行者は本間家と関わりのある人物と推察される。

③ 大坂から来た回国行者

木間ヶ瀬・白山神社裏に建つ文化九年（一八一二）に造立された回国塔は、二名の法名とその命日が刻まれている。この塔の造立に関わった世話人七名は全て木間ヶ瀬村の住人ではなく、大坂方面の回国仲間である。その中には「大坂・善道」と云う人物があり、この人物の回国塔が五年後の文化四年（一八一七）に同村の西蔵院墓地に造立されている。「奉納大乘妙典日本回国供養／生國攝州西成郡大坂／善道法師／行年五十二才／俗名判七」の銘文で、大坂から回国で当地を訪れ、少なくとも五年間は西蔵院寮に居住し、この地で逝去したものと思われる。

3. 国回途中の中供養塔

中供養とは、回国の行脚の途中で行者と縁のあつた人々が、行者の靈力や業績にあやかつて功徳を得ようと回国塔を造立することである。行者は村に滞在し、病の治癒や惡靈退治に靈験を顯したり、村のために勧進を行なつて石橋やお堂の建立に貢献することがあつた。人々の信頼を得て造塔への機運として盛り上がることもあつたと推察される。

その一例として、中野台・報恩寺前に建つ延享四年（一七七）造立の回国塔は、伊勢国飯高郡西村（現・三重県松阪市）から訪れた虎山石牛という行者が願主となつて造立したものである。この人物は法華經全巻を千部と普門品を一万部読誦し、さ

らに法華經全卷を五度に亘り書写している。うち一度は經文を小石に一字ずつ書き写して地中に埋める一字一石經も行なっている。また、石牛の力に感服した当地の念佛講三五人が、これに呼応して念佛五八六万遍を唱えたと、塔に明記されている。行者の靈力に心酔した地元民がヒートアップして造塔に及んだようである。

4. 無縁靈供養の回国塔

通常の逝去者に授けられるものとは異なる、行倒れなどの横死者への法名らしきものが刻まれた回国塔が四基見られる。

東金野井・満福寺墓地には、「一七〇〇年ほどの大振りな塔の脇に、「有無縁志施村々貴賤為二世同證悉地也」の銘文が刻まれ、万靈供養を行なつたと思われる寛延二年（一七四九）の回国塔がある。回国行者の靈力による無縁仏の鎮魂を期待しての造立と思われる。

5. 回国行者への施宿塔

かつて、諸国行脚の修行者や遍路の人々に宿を提供すること自らが順礼を行うことと同等の功徳があると信じられて、おり、宗教者などを無料で宿泊させる「善根宿」と呼ばれる宿があつた。山崎地区・大和田のS家の墓地に、「大乘妙典宿供養」と刻まれた自然石碑が造立されている。これは、江戸末期に回国行者向けの善根宿があつたことを示している。因みに、このような奇特な人々は全国に存在し、埼玉県・小川町の峰岸茂右衛門夫婦が一万人の回国行者に宿を提供していることを頗す「回国者一万人施宿供養塔」が子孫によつて安永八年（一七七九年）に造立されている。

6. 職業六部の関与した回国塔

図1が示すように、宝暦期を頂点に野田市内から回国の旅に出る行者は序々に減少し、化政期より回国塔と順礼塔の造立数が逆転し始める。これは回国の目的が容易に達成できる百觀音靈場や四国靈場への巡拝に興味が移つたことと、富士・御嶽の

山岳信仰が広まつたことによる影響と思われる。

その隙間を埋めるように、文化年間より「渡世六部」と呼ばれる回国行を職業にする宗教者集団（以下、職業六部とする）が現れる。彼らは集団で旅をしながら、立ち寄つた集落の人々に回国塔造立の功德を説き、造立時には世話人として開眼時のセレモニーなどを取り仕切つて報酬を得ることを生業の一つとしていたようである。

野田市内にも、職業六部が関与したと思われる回国塔が文化年代を初出に一三基確認できる。それまでの回国塔とは違い、塔の造立において地元民の外によそこの国の世話人や助力者が複数関わつてゐることである。その事例を次に記すこととする。

① 他国者二三名が関わつた回国塔

木間ヶ瀬地区・内野堤根の神明神社に祀られる回国塔は、天保四年（一八三三）の造立である。大坂出身の行者圓心を願主とする回国塔であり、そこには、地元・鈴木半右衛門外一七名と共に、「長崎方田／豊前逸平／境町儀三郎」や他国の男女二〇名の名前が刻まれている。この時期は悪天候が続き、天保の飢饉が起こり始める頃である。地元民はこの回国塔の造立で、「天下泰平・日月清明」を祈願し、職業六部の導きで大規模な開眼供養を催したと推察される。



堤根・神明神社の回国塔

① 生花師匠一門が造立した中供養塔

現在所在不明で、筆者は実見していない。しかし、記録によると、旧野田町で遠州流の生花師匠をしていた浅草庵一舟と門人連中が、天保三年（一八三二）に常州行者順信の中供養塔を造立している。願主は武州浅草住の貞淨とむめで、一舟の俳句「かんす禮ハ尚はた寒し後の月」が刻まれた大振りな石碑であつたようだ。世話人に「肥後国・清山、山城国・富蔵」などと他国者の名前が刻まれており、職業六部が関与した回国塔と思われる。

② 明治期以降に造立された回国塔

明治維新を迎えると、政府は神仏分離などの大掛かりな宗教改革を断行し、明治四年（一八七一）に一連の民間宗教に禁止令を発布している。修驗道・普化宗（虚無僧）などと共に六十六部も禁止の対象となり「平民廻国修行の名義をもつて、六十六部と称し、仲間を立ち寄り宿所を設置、米錢などの施物を乞い候義、今から一切禁止候」との布告がなされた。これにより、一時は解体したかにみえた六部組織だが、上花輪地区・東福寺門前には職業六部組織が与した回国塔が明治二七年（一八九四）七月に造立されている。

開眼導師と脇導師を、清水・金乗院住職と野田町・西光院住職がそれぞれ務め、野田町の醤油造家旦那衆を始め、周辺地域の名士が名を連ねている。特に、地元・上花輪村では一名の世話を含め、二五名が記されている。その台座に、立合同行として備前国・備中國・伊賀国などの人名が一九名ほど記されており、職業六部の関与で、大規模な開眼供養が行われたものと推察される。明治維新から三十年近く過ぎ、明治政府の民間信仰への対応が緩くなつたことだろうか。



宮崎県富町の回国塔

7. 宮崎県に造立された野田市出身者の回国塔

宮崎県内の回国塔約百基を丹念に追った『六十六部回国供養塔—宮崎県の石塔』と云う本が、岩田書院より二〇〇四年に刊行されている。これは、長曾我部光義・押川周弘両氏の二〇年に亘る研究を集成したものである。そして、その報告の中に宮崎県・国富町に建てられている「下総葛飾郡庄内領三ヶ尾村□觀」と刻まれた回国塔を発見した。

光背型の石塔で長めの錫杖を持つ延命地蔵が彫られ、明和元年（一七六四）一二月に造立されている。この人物は野田南部の三ヶ尾村から回国の旅に出たようで、銘文によれば同町の本庄一丁田高寺に作善として石段を建立している。三ヶ尾地区には延宝期から記録されている新義真言宗豊山派の正覚寺があり、□觀とあることからこの寺に関わる僧侶と思われる。しかし、現在この周辺に回国塔は確認されず、□觀が帰郷したか否かは不明である。

二、嶋村庄蔵の納経帳について



納経帳上、下

あつた。この納経帳が中川家に渡った経緯などは不明である。嶋村家の子孫は野田市内に居住されていないようであり、謎が増すばかりである。

・嶋村庄蔵の回国ルート

嶋村庄蔵が残した二冊の納経帳を、回国研究者であるノートルダム清心女子大・小嶋博巳教授が解説した一覧表から日付と納経地をピックアップして表3とした。

これによれば、享保一六年（一七三一）三月二六日に浅草・浅草寺へ参り、翌日に上野・東叡山寛永寺を参詣している。寛永寺は六部行者に対し「東叡山御定目」という身分証明書のような書状を出しており、庄蔵はこの書付を受取つたものと思われる。

本格的に回国が始まるのは同年六月三日の鎌倉・鶴岡八幡宮からで、享保一八年（一七三三）八月一二日の武藏国・慈恩寺への納経まで、二年半かけて二三二ヶ所の寺社に納経を果たして帰郷している。この回国の旅では主に関西を回り、西国観音札所・坂東觀音札所・四国八十八ヶ所などへの納経も済ませている。

二度目の旅は、七ヶ月あまり間を置いた享保一九年（一七三四年）三月二十四日からで、市川市にある下総国分寺を始まりとして上総国・安房国・常陸国などの近場を二ヶ月足らずで回り、その後、奥州に向かつて旅を続け、六月四日に仙台の陸奥国分寺、翌月に陸奥国一ノ宮の塩釜明神に納経している。七月初旬には出羽三山に参り、半月ほど滞在したのか不明である。七月二十日に越後に姿を現している。そして、弥彦山や佐渡などを回つた後に下野国へ向かい、下野・坂東觀音靈場一九番の大谷寺に納経し、一月末に帰郷している。

当納経帳は、昭和三八年に野田町の旧家・中川仲右衛門家から興風図書館に寄贈されたものである。中川家は野田町初めての町長を勤めた家柄で、江戸期においても種々の石造物などに世話をとして名を連ねており、野田町を牽引する中心的商家で

三度目は、享保二〇年（一七三五）四月下旬に、秩父觀音靈場を一週間ほど回り、ここから九州を目指し、三ヶ月後の七月に琵琶湖沿岸の西国觀音靈場三〇番・宝嚴寺に納経している。

その後、日本海側の国々（但馬・因幡・伯耆）を経て、鹿児島を初め九州各國を一年半ほどかけて納経している。元文元年（一七三六）一二月一三日には芝・淨土宗大本山増上寺に最後の納経を行い、長い回国の旅を終えている。その二ヶ月後には中根の地に丸彫の延命地蔵が乗つた回国塔を造立しており、庄蔵の回国成就の喜びが伝わってくる。さぞかし、回国塔の開眼法要は盛大だったことだろう。



鳴村庄蔵の回国塔

おわりに

回国塔は、筆者にとつて実に難解な石塔であった。山岳信仰の執筆の際にも感じたことだが、修驗道や民間信仰の絡む信仰は一筋縄では行かない複雑さがある。ここ数年、回国関連の資料収集や、順礼研究の先達からご教示を受けて何とか纏めることができた。資料の提供や納経帳の解読など、多くの助力を頂戴したノートルダム清心女子大学教授・小島博巳氏に書面を借りてお礼を申し上げる次第である。

【参考資料】

野田市市史編纂委員会 『野田市金石調査資料集』 一九六七年
拙著 『関宿町の石造物』 私家版 二〇〇二年

巡礼研究会編『巡礼論集2 六十六部廻国巡礼の諸相』 岩田書院 二〇〇三年

長曾我部光義・押川周弘 『六十六部廻国供養塔——「石に聴く」宮崎県の石塔探訪記』 岩田書院 二〇〇四年

小嶋博巳 『回国供養塔データベース』 二〇一四年
『石造物からみる近世の六十六部』『日本の石仏』
一四七号』 青娥書房 二〇一四年

菅根幸裕 『近世の関東における六十六部について』『宗教民俗研究・六号』 日本宗教民俗学研究会 一九九六年

（いしだ としこ 当館展示協力員）

表1. 野田市の回国塔一覧

No.	所在地	造立年	西暦	像容	型式	造立目的ほか
1	尾崎 威徳院	宝永二乙酉歳九月吉日	1705	大日如来	笠付角柱	回国成就／野田市最古
2	尾崎 金島／不明	宝永四年三月	1707		不明	回国成就
3	船形猪穴 個人家墓地	宝永五戊子年二月吉祥日	1708		笠付角柱	回国成就
4	東金野井 清泰寺・無縁塚	正徳二壬辰年二月吉日	1712		櫛型	行者供養／大坂籠屋町
5	尾崎 山中共同墓地	享保二丁酉年八月吉日	1717		櫛型	回国成就／同行2
6	船形 上自治会館入口	享保三戊戌年霜月吉日	1718	阿弥陀如来	四面角柱	行者供養
7	清水 踏切添墓地	享保六辛丑歳霜月殿日	1721		櫛型	回国成就
8	三ツ堀笛久保 路傍/覆屋	享保七寅天四月朔日	1722	延命地蔵	光背型	行者供養／伊勢国
9	吉春 外和堂外墓地	享保九甲辰歳十月吉日	1724		自然石碑	回国成就
10	清水 踏切添墓地	享保十一丙午天十月吉日	1726		駒型	回国成就
11	山崎 旧円通寺入口	享保十二歳未十月吉日	1727		角塔	回国成就
12	目吹 観音院 個人家墓	享保十二丁未天五月以降	1727		櫛型	回国成就／法名4
13	清水 踏切添墓地	享保十三申十二月吉日	1728		櫛型	回国成就
14	野田上町 無山坊墓地	享保十四酉歳六月五日	1729		櫛型	回国成就
15	野田上町 西光院前墓地	享保十七壬子年十一月吉日	1732	延命地蔵	丸彫+角柱	回国成就
16	目吹 花光院参道	享保十七壬子年二月吉祥日	1732		櫛型	回国成就
17	平井 共同墓地	享保十七壬子年十月大善日	1732	延命地蔵	丸彫+角柱	回国成就
18	船形松山 寮入口	享保十九甲寅年十月大吉日	1734	延命地蔵	丸彫+角柱	回国成就
19	木野崎 鹿野墓地	享保二十年□月日	1735	仏像三体	丸彫+角柱	回国成就
20	上花輪 観音堂 個人家墓	享保廿乙卯天三月十三日	1735	大日・薬師	笠付角柱	回国成就／法名16
21	中根 日光街道沿 個人家墓地	元文二丁巳天二月吉日	1737	延命地蔵	丸彫+角柱	回国成就／納経帳アリ
22	目吹 観音院参道	元文二丁巳天十一月吉日	1737	聖觀音	櫛型	回国成就
23	野田下町 安心坊	元文二巳年十一月七日	1737		櫛型	回国成就
24	目吹 JA脇道 富士塚横	元文三戊午天十月吉祥日	1738		笠付角柱	回国成就
25	上花輪 太子坊墓地	元文四己未年十一月吉日	1739		兜巾型	回国成就
26	今上 観音堂	元文五庚申年十月吉日	1740		笠付角柱	中供養／大坂天連野町
27	目吹 花光院参道	延享三丙寅年二月吉祥日	1746		櫛型	回国成就
28	中野台 鹿島神社参道	延享四丁卯二月吉祥日	1747		兜巾型	行者供養
29	丸井 丸井共同墓地	延享四丁卯年十月吉日	1747		笠付角柱	回国成就
30	中野台 報恩寺門前	延享四丁卯十月穀旦	1747		角柱	中供養／伊勢国
31	上花輪 観音堂 個人家墓	延享四丁卯天十二月四日	1747		笠付角柱	行者供養／信州善光寺地
32	野田上町 無山坊	寛延元年辰十一月吉日	1748		櫛型	回国成就
33	東金野井 満福寺	寛延二己巳歳六月吉日	1749		櫛型	中供養／万靈供養
34	上花輪 観音堂 個人家墓	寛延三庚午天三月二十九日	1750		櫛型	回国成就
35	木野崎高根 恵空寺	寛延四未天八月大善日	1751		櫛型	回国成就
36	木間ヶ瀬鴻ノ巣 交差点	宝暦三癸酉天九月吉日	1753		櫛型	回国成就
37	木間ヶ瀬羽貫 共同墓地	宝暦三癸酉八月吉祥日	1753		櫛型	回国成就／無縁供養力
38	船形 上自治会館 個人家墓	宝暦四甲戌歳八月吉日	1754		兜巾型	回国成就
39	西三ヶ尾 正西坊	宝暦四口天十一月吉日	1754		櫛型	回国成就／法名2
40	岡田 福寿院入口	宝暦四甲戌年二月吉日	1754		櫛型	回国成就／無縁供養力
41	船形大和田 観音寺下	宝暦五乙亥二月大善日	1755		櫛型	回国成就／同行2
42	清水 金乗院墓地	宝暦六丙子二月吉祥日	1756		櫛型	回国成就
43	中里阿部 妙楽院	宝暦六丙子天十一月吉日	1756		櫛型	回国成就
44	船形 上自治会館入口	宝暦六丙子霜月大善日	1756		角柱	回国成就／二親供養
45	木間ヶ瀬出洲 水神社	宝暦六丙子歳十月吉祥日	1756		櫛型	回国成就／夫婦同行
46	野田上町 無山坊	宝暦七丁丑天五月朔日	1757		角塔	回国成就
47	木野崎高根 太神宮	宝暦九己卯七月吉日	1759		櫛型	回国成就
48	目吹 元福蔵院墓地	宝暦九己卯天十月吉祥日	1759		櫛型	中供養力／武州神奈川
49	清水路傍／不明	宝暦十庚辰穀二月初四日	1760		櫛型	回国成就
50	大殿井 不動坊墓地	宝暦十一辛巳十一月吉日	1761	破勝地蔵	兜巾型	回国成就
51	岩名 真光寺前墓地	宝暦十二午三月九日	1762		兜巾型	回国成就
52	東金野井 満福寺	宝暦十二午十二月吉日	1762		兜巾型	回国成就／香取郡丁子
53	船形上野井 びんづる寮	宝暦十三癸未霜月大善日	1763		櫛型	回国成就／二親供養
54	木間ヶ瀬向内 勢至堂墓地	明和元甲申年八月吉祥日	1764		駒型	回国成就／法名1
55	中野台 三昧寺跡	明和二酉二月二十四日	1765		櫛型	回国成就／夫婦同行
56	野田上町 無山坊	明和二酉年三月吉日	1765		櫛型	回国成就／親族供養
57	岡田 福寿院入口	明和四丁亥六月大善日	1767		櫛型	回国成就
58	目吹 元福蔵院墓地	明和八卯年十月吉日	1771		自然石碑	回国成就

No.	所在地	造立年	西暦	像容	型式	造立目的ほか
59	木間ヶ瀬飯塚 積迦堂墓地	安永二巳天二月大善日	1773		櫛型	回国成就
60	船形下村 今泉不動尊	安永三甲午十一月吉日	1774		香箱型	回国成就
61	尾崎 山中共同墓地	安永四未十月[]	1775	薬師如来	丸彫	回国成就／女性力
62	三ツ堀 下灰毛集会所	安永六丁酉天十一月吉日	1777		兜巾型	行者供養
63	古布内 浄禪寺	安永八己亥天十月吉日	1779		櫛型	回国成就
64	木間ヶ瀬砂南 公民館傍	安永九年十一月吉日	1780		櫛型	回国成就／道標
65	木間ヶ瀬砂南 公民館向墓地	天明二壬寅年十一月吉祥日	1782		櫛型	回国成就
66	岡田 福寿院入口	天明四辰年九月十一日	1784		兜巾型	行者供養／奥州岩瀬郡
67	木間ヶ瀬前堀 集会所墓地	天明五年	1785		櫛型	回国成就／無縁供養力
68	横内 東町通寮	天明六丙午十月吉日	1786		寶筐印塔	回国成就／親族供養
69	木間ヶ瀬新宿 観音坊墓地	天明七丁未年十月廿四日	1787		角柱	墓石／佐渡国
70	東宝珠花 共同墓地前	寛政元酉十月日	1789		駒型	行者供養
71	船形上野井 びんずる寮	寛政三亥八月五日以降	1791		櫛型	行者供養／法名 5
72	船形上野井 びんずる寮	寛政四子年八月吉日	1792	弘法大師	角塔	回国成就
73	蕃昌 蕃昌会館	寛政六寅十一月吉日	1794	延命地蔵	丸彫+角柱	回国成就／法名 1
74	山崎東新田 県道脇	寛政八丙辰霜月吉日	1796		兜巾型	回国成就
75	船形 上自治会館墓地入口	寛政八丙辰年十一月吉祥日	1796		駒型	回国成就
76	船形下村 今泉不動尊	寛政十二申星十月吉日	1800		香箱型	回国成就／同行 2
77	木間ヶ瀬飯塚 積迦堂墓地	享和元年三月十三日	1801		駒型	回国成就
78	三ツ堀 円福寺	文化三寅天三月吉日	1806		兜巾型	回国成就
79	目吹 花光院	文化七庚午歳二月吉日	1810		駒型	回国成就
80	瀬戸字勢至 関根家墓地	文化九壬申年八月吉祥日	1812		駒型	回国成就／二親供養
81	木間ヶ瀬飯塚 白山神社裏	文化九申年十二月廿二日	1812		駒型	行者供養／職業六部
82	木間ヶ瀬前村 権正坊墓地	文化十酉年九月三日	1813		駒型	行者供養／上州群馬郡
83	谷津 旧堂山墓地	文化十二乙亥二月吉日	1815	六地蔵	光背型	回国成就
84	木間ヶ瀬前村 権正坊墓地	文化十二亥年九月八日	1815		櫛型	行者供養／丹波国
85	山崎大崎 大崎墓地/不明	文化十三丙子三月吉日	1816		角塔	中供養／職業六部
86	木間ヶ瀬前村 集会所墓地	文化十四丁丑年二月十七日	1817		櫛型	行者供養／攝州西成郡
87	山崎 薬師堂墓地	文政二己卯天十二月初七日	1819		香箱型	回国成就
88	東金野井 遠藤家墓地	文政六歳癸未正月吉日	1823		角塔	回国成就
89	山崎大崎 大崎墓地/不明	文政六癸未三月吉日	1823		香箱型	中供養／職業六部
90	花井 不動堂墓地	文政十亥八月	1827		櫛型	回国成就
91	谷津 觀音堂墓地	文政十丁亥年四月吉日	1827		兜巾型	中供養力
92	谷津 旧堂山墓地	文政十丁亥三月廿九日	1827		櫛型	行者供養／職業六部
93	中根八幡 元法藏寺墓地	文政十一年正月吉日	1828		角塔	中供養／職業六部
94	岡田 福壽院寮入口	天保二卯年十月吉祥日	1831		香箱型	行者供養
95	谷津 堂山墓地	天保三辰十一月	1832		自然石碑	中供養／職業六部
96	木間ヶ瀬内野堤根 神明神社	天保四年癸巳四月吉日	1833		兜巾型	中供養／職業六部
97	木間ヶ瀬下根 勢至堂	天保六未年九月吉日	1835		兜巾型	中供養／職業六部
98	東金野井 西福寺	天保十己亥天十月摩訶吉日	1839		櫛型	回国成就／御嶽先達
99	宮崎 松寮院墓地	天保十亥十月	1839		自然石碑	中供養／職業六部
100	上三ヶ尾 高野集会所	天保十亥六月吉日	1839		角柱型	中供養／職業六部
101	吉春 地蔵堂	天保十一子年正月	1840		角塔	中供養／女性
102	大殿井 不動坊墓地	嘉永五歳子三月六日	1852		櫛型	行者供養／職業六部
103	山崎東大和田 個人家墓地	嘉永六天	1853		自然石碑	回国宿供養
104	上花輪 東福寺／不明	安政四巳年三月吉日	1857	弘法大師	碑	回国成就
105	木間ヶ瀬武者土 大日堂跡	安政四丁巳年	1857		兜巾型	回国成就／夫婦
106	親野井 親野井共同墓地	元治元甲子年四月	1864		兜巾型	回国成就／親族供養
107	木間ヶ瀬新宿 観音坊入口	元治二乙丑年四月吉日	1865		兜巾型	中供養／職業六部
108	木間ヶ瀬下根 薬師堂墓地	明治三巳年八月十日	1870		兜巾型	行者供養／口光法尼
109	野田下町 安心坊	明治十三年八月	1880		兜巾型	回国成就／本人 75 才
110	上花輪 東福寺	明治廿七甲午年七月	1894		自然石碑	中供養／職業六部
111	清水 八幡神社	江戸中期	不明		笠付角柱	回国成就
112	山崎東大和田 墓地	江戸後期	不明		兜巾型	中供養／職業六部

表2.回国塔に刻まれた他国行者一覧

No.	所在地	回国行者名	刻まれた出身地名	回国塔造立地	造立年	西暦
1	大阪府	清誉了恵	大坂籠屋町	東金野井／清泰寺	正徳2年	1712
2	三重県	西心法師	伊勢鈴鹿郡国府村	三ツ堀・笛久保路傍	享保7年	1722
3	大坂府	真八	摂津国東成郡大坂天満野町	今上 観音堂	元文5年	1740
9	島根県	不明	石見国津和野	木間ヶ瀬 新宿墓地	寛保3年	1743
4	三重県	虎山石牛	伊勢国飯高郡西村	中野台 報恩寺	延享4年	1746
5	長野県	善念法師	信州善光寺地中 常行坊	上花輪 観音堂墓地	延享5年	1747
6	神奈川県	行者恵心	武州神奈川口口寺	目吹 旧福蔵院墓地	宝暦9年	1759
7	千葉県	満福寺弟子 円求	下総国香取郡丁子村	東金野井 満福寺	宝暦12年	1762
8	福島県	高山法師	奥州岩瀬郡長沼村	岡田 福寿院	天明4年	1784
10	新潟県	本間右京男	佐渡国賀茂郡片上村	木間ヶ瀬 新宿墓地	天明7年	1786
11	群馬県	了圓法師/俗名伊八	上州群馬郡足口	木間ヶ瀬 権正坊墓地	文化10年	1813
12	京都府	自明法師	丹波国	木間ヶ瀬 権正坊墓地	文化12年	1815
13	東京都	実道/妙心/まさ	武州多摩郡青梅村	山崎 大崎墓地	文化13年	1816
14	大阪府	善道法師/俗名判七	摂州西成郡大坂	木間ヶ瀬 前村墓地	文化14年	1817
15	東京都	法譽海信	武州足立郡	山崎 大崎墓地	文政6年	1823
16	大分県	妙光清信女/俗名スエ	豊後国府内	谷津 旧堂山墓地	文政10年	1827
17	大阪府	全了	摂州産	谷津 観音堂墓地	文政10年	1827
18	愛知県	全道/智空	尾州名古屋	中根 旧法藏寺墓地	文政11年	1828
19	東京都	行者順信	上州	谷津 旧堂山墓地	天保3年	1832
20	大坂府	行者圓心	摂州大坂	木間ヶ瀬 神明神社	天保4年	1833
21	東京都	妙心尼/達道	江戸三田幸町	木間ヶ瀬下根 勢至堂	天保6年	1835
22	東京都	心戒/妙湛	江戸神田三阿町	上三ケ尾 高野集会所	天保10年	1839
23	福岡・大分	行者全光	豊前国 その他多数	宮崎 松寮院墓地	天保10年	1839
24	山梨県	妙蓮	甲斐国	谷津 地蔵堂墓地	天保11年	1840
25	和歌山県	順邦信士 俗名甚兵エ	紀州若山	大殿井 不動坊墓地	嘉永5年	1852
26	千葉県	秋元源五左衛門/よし	北總香取郡飯島村	木間ヶ瀬武者土 路傍	安政4年	1857
27	熊本県	宥道 佐弥	肥後国 その他多数	木間ヶ瀬 新宿墓地	元治2年	1865
28	大阪府	大坂覺道	大坂 その他	山崎 大和田墓地	慶応3年	1867
29	愛媛県	□光法尼	豫窓松山浮穴郡	木間ヶ瀬下根 薬師堂	明治3年	1870
30	広島県	了全法師 俗名弥助	備後国深津郡浦上村	野田下町 安心坊墓地	明治13年	1880

(基)

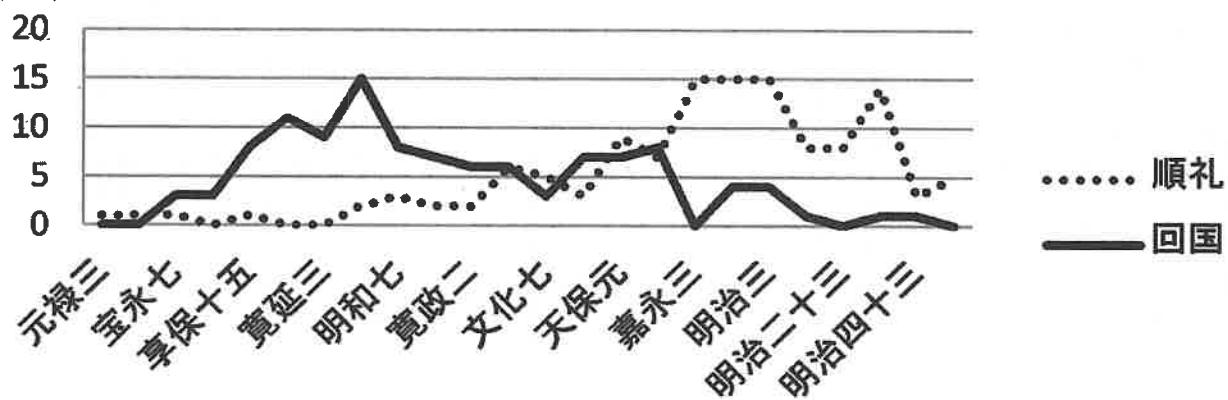


図1. 野田市の順礼塔・回国塔の造立推移

表3. 納経帳による島村庄蔵の回国路 (小嶋博巳氏解説)

No.	納経年月日	納経国	納経寺社	No.	納経年月日	納経国	納経寺社	No.	納経年月日	納経国	納経寺社
1	享保16・03・26	武藏国	浅草寺	77	享保17・04・09	河内国	御福寺	153	享保17・07・24	讃岐国	大庭寺
2	享保16・03・27	武藏国	東叡山	78	享保17・04・10	大和国	金峰山寺	154	享保17・07・25	阿波国	切幡寺
3	享保16・03・29	武藏国	六所宮	79	享保17・04・12	大和国	金峰山寺	155	享保17・07・26	阿波国	法輪寺
4	享保16・03・29	武藏国	国分寺	80	享保17・04・15	大和国	岡寺	156	享保17・07・—	阿波国	熊谷寺
5	享保16・05・09	相模国	弘明寺	81	享保17・04・16	大和国	長谷寺	157	享保17・07・26	阿波国	十樂寺
6	享保16・05・09	相模国	称名寺	82	享保17・04・17	大和国	大三輪社	158	享保17・07・26	阿波国	安樂寺
7	享保16・06・03	相模国	鶴岡八幡宮	83	享保17・04・17	大和国	国分寺	159	享保17・07・27	阿波国	地藏寺
8	享保16・06・03	相模国	光明寺	84	享保17・04・—	大和国	壺阪寺	160	享保17・07・27	阿波国	大日寺
9	享保16・06・04	相模国	高徳院	85	享保17・04・20	大和国	興福寺南円堂	161	享保17・07・27	阿波国	金泉寺
10	享保16・06・02	相模国	岩殿寺	86	享保17・04・20	大和国	東大寺大仏殿	162	享保17・07・27	阿波国	極樂寺
11	享保16・06・02	相模国	杉本寺	87	享保17・04・20	山城国	三室戸寺	163	享保17・07・27	阿波国	靈山寺
12	享保16・06・03	相模国	安養院	88	享保17・04・22	山城国	上醍醐寺	164	享保17・07・28	阿波国	井戸寺
13	享保16・06・04	相模国	長谷寺	89	享保17・04・22	近江国	岩間寺	165	享保17・07・28	阿波国	觀音寺
14	享保16・06・05	相模国	江ノ島弁才天	90	享保17・04・22	近江国	石山寺	166	享保17・07・29	阿波国	藤井寺
15	享保16・06・05	相模国	清淨光寺	91	享保17・04・23	近江国	三井寺	167	享保17・07・29	阿波国	焼山寺
16	享保16・06・07	相模国	寒川明神	92	享保17・04・23	近江国	建部神社	168	享保17・07・30	阿波国	一宮明神
17	享保16・06・09	相模国	国分寺	93	享保17・04・23	近江国	比叡山淨土院	169	享保17・07・29	阿波国	常樂寺
18	享保16・06・10	相模国	星谷觀音	94	享保17・04・25	山城国	鞍馬寺	170	—・—・—	阿波国	分寺
19	享保16・06・12	相模国	長谷寺	95	享保17・04・25	山城国	貴布祢明神	171	—・08・03	阿波国	恩山寺
20	享保16・06・13	相模国	日向山	96	享保17・04・25	山城国	上賀茂社	172	享保17・08・03	阿波国	立江寺
21	享保16・06・14	相模国	大山不動	97	享保17・04・26	山城国	今熊野	173	享保17・08・13	阿波国	鶴林寺
22	享保16・06・16	相模国	金目觀音	98	享保17・04・26	山城国	国分寺	174	享保17・08・13	阿波国	太童寺
23	享保16・06・18	相模国	飯泉観音	99	享保17・04・26	山城国	黒谷	175	享保17・08・14	阿波国	平等寺
24	享保16・06・18	相模国	大雄山	100	享保17・04・26	山城国	北野天満宮	176	享保17・08・16	阿波国	藥王寺
25	享保16・—・—	駿河国	富士山薬師嶽	101	享保17・04・26	山城国	六波羅蜜寺	177	享保17・08・20	土佐国	東寺
26	享保16・07・06	甲斐国	一宮	102	享保17・04・26	山城国	清水寺	178	享保17・08・20	土佐国	津寺
27	享保16・07・06	甲斐国	国分寺	103	享保17・04・26	山城国	革堂	179	享保17・08・21	土佐国	西寺
28	享保16・07・09	甲斐国	七寛山權現	104	享保17・04・26	山城国	六角堂	180	享保17・08・24	土佐国	神峰寺
29	享保16・07・11	甲斐国	善光寺	105	享保17・04・28	山城国	愛宕山權現	181	享保17・08・30	土佐国	日寺
30	享保16・08・02(?)	遠江国	国分寺	106	享保17・04・29	丹波国	穴太寺	182	享保17・08・30	土佐国	分寺
31	享保16・08・03	伊豆国	二島明神	107	—・—・—	丹波国	出雲明神	183	享保17・08・30	土佐国	明神
32	享保16・08・03	伊豆国	国分寺	108	—・—・—	丹波国	國分寺	184	享保17・09・01	土佐国	五台山
33	享保16・08・13	駿河国	駿河國明神	109	享保17・05・01	山城国	善峰寺	185	享保17・09・01	土佐国	禪師峰寺
34	享保16・08・16	駿河国	國分寺	110	享保17・05・02	山城国	石清水八幡宮	186	享保17・09・02	土佐国	雪蹊寺
35	享保16・09・09	遠江国	事任神社	111	享保17・05・03	攝津国	惣持寺	187	享保17・09・02	土佐国	種間寺
36	享保16・09・14	遠江国	竜禪寺	112	享保17・05・03	攝津国	勝尾寺	188	享保17・09・02	土佐国	清滝寺
37	—・—・—	遠江国	秋葉三尺坊権現	113	享保17・05・04	摂津国	中山寺	189	享保17・09・03	土佐国	青苗寺
38	享保16・09・27	三河国	鳳來寺	114	享保17・05・07	播磨国	清水寺	190	享保17・09・13	伊予国	岩屋寺
39	享保16・09・29	三河国	砥鹿明神	115	享保17・05・11	播磨国	柿本明神	191	享保17・09・13	伊予国	大宝寺
40	享保16・09・29	三河国	國分寺	116	享保17・05・11	淡路国	岩屋天地明神	192	享保17・09・14	伊予国	淨瑠璃寺
41	享保16・11・11	尾張国	熱田神宮	117	享保17・05・18	播磨国	一乘寺	193	享保17・09・14	伊予国	八坂寺
42	享保16・11・13	尾張国	津島天王社	118	享保17・05・19	播磨国	國分寺	194	享保17・09・14	伊予国	西林寺
43	享保16・11・15	尾張国	真清田神社	119	享保17・05・23	播磨国	伊和明神	195	享保17・09・14	伊予国	淨土寺
44	享保16・11・23	美濃国	永保寺	120	享保17・閏05・16	美作国	國分寺	196	享保17・09・14	伊予国	繁多寺
45	享保16・12・06	飛騨国	玉童寺	121	享保17・閏05・17	美作国	中山神宮	197	享保17・09・14	伊予国	手寺
46	享保16・12・13	美濃国	谷汲寺	122	享保17・05・20	播磨国	書写山	198	享保17・09・15	伊予国	太山寺
47	享保16・12・16	美濃国	国分寺	123	享保17・閏05・29	備中國	吉備津宮	199	享保17・09・15	伊予国	光明寺
48	享保16・12・16	美濃国	南宮	124	享保17・閏05・晦	備中國	國分寺	200	享保17・09・16	伊予国	圓明寺
49	享保16・12・17	近江国	多賀大社	125	享保17・06・02	備後國	國分寺	201	享保17・09・21	安芸国	國分寺
50	享保16・12・18	近江国	觀音正寺	126	享保17・06・03	備後國	吉備津一宮	202	享保17・10・—	石見国	國分寺
51	享保16・12・19	近江国	長命寺	127	享保17・06・11	伊予国	大山積明神	203	享保17・10・11	石見国	南宮
52	享保16・12・26	伊賀国	國分寺	128	享保17・06・14	伊予国	大山寺	204	享保17・10・15	隱岐国	燒火山權現
53	享保16・12・26	伊賀国	敢國明神	129	享保17・06・15	伊予国	仙遊寺	205	享保17・10・中旬	出雲国	出雲大社
54	享保17・01・16	伊勢国	國分寺	130	享保17・06・15	伊予国	八幡宮	206	享保17・10・22	出雲国	國分寺
55	享保17・01・19	伊勢国	大日寺	131	享保17・06・16	伊予国	横峰寺	207	享保17・—・—	吉備前国	吉備津宮
56	享保17・01・19	伊勢国	欣淨寺	132	享保17・06・17	伊予国	香園寺	208	享保18・01・28	但馬国	水谷宮
57	享保17・01・—	伊勢国	朝熊岳金剛明寺	133	享保17・06・17	伊予国	宝寿寺	209	享保18・01・29	但馬国	國分寺
58	享保17・01・15力	志摩国	丸山虛空藏	134	享保17・06・17	伊予国	吉祥寺	210	享保18・02・10	丹後国	成相寺
59	享保17・01・23	志摩国	伊稚宮	135	享保17・06・17	伊予国	前神寺	211	享保18・02・10	丹後国	守神社
60	享保17・02・16力	紀伊国	熊野新宮	136	享保17・06・21	伊予国	三角寺	212	享保18・02・10	丹後国	籠尾寺
61	享保17・02・19	紀伊国	熊野那智山	137	享保17・06・22	阿波国	雲辺寺	213	享保18・02・18	丹後国	松尾寺
62	享保17・02・21	紀伊国	熊野本宮	138	享保17・06・24	讃岐国	觀音寺	214	享保18・02・20	若狭国	神宮寺
63	享保17・03・14	紀伊国	紀三井寺	139	享保17・06・25	讃岐国	本山寺	215	享保18・02・20	若狭国	國分寺
64	享保17・03・18	紀伊国	粉河寺	140	享保17・06・26	讃岐国	弥谷寺	216	享保18・02・23	越前国	氣比神宮
65	享保17・03・17	紀伊国	國分寺	141	—・—・—	讃岐国	出枳迦迎寺	217	享保18・02・29	越前国	國分寺
66	享保17・03・18	紀伊国	一宮明神	142	享保17・06・26	讃岐国	曼荼羅寺	218	享保18・03・10	越前国	永平寺
67	享保17・03・20	紀伊国	高野山奥院	143	享保17・06・26	讃岐国	摩尼珠院	219	享保18・03・12	越前国	白山妙理權現
68	享保17・03・23	和泉国	楓尾寺	144	享保17・06・28	讃岐国	國分寺	220	享保18・03・29	加賀国	王寺
69	享保17・03・24	和泉国	國分寺	145	享保17・06・28	讃岐国	白峰寺	221	享保18・03・晦	加賀国	那谷寺
70	享保17・03・26	和泉国	大鳥明神	146	享保17・06・29	讃岐国	根香寺	222	享保18・04・05	能登国	氣多大社
71	享保17・03・29	攝津国	住吉神宮	147	享保17・06・29	讃岐国	一宮寺	223	享保18・04・08	越中国	氣多明神
72	享保17・04・01	攝津国	國分寺	148	享保17・07・01	讃岐国	長尾寺	224	享保18・04・08	越中国	國分寺
73	享保17・04・01	攝津国	四天王寺	149	享保17・07・01	讃岐国	屋島寺	225	享保18・04・12	越中国	立山權現
74	享保17・04・03	河内国	葛井寺	150	享保17・07・02	讃岐国	八栗寺	226	享保18・04・18	飛騨国	製婆山千光寺
75	享保17・04・04	河内国	恩智明神	151	享保17・07・02	讃岐国	志度寺	227	享保18・04・19	飛騨国	國分寺
76	享保17・04・09	河内国	國分寺	152	享保17・07・23	讃岐国	長尾寺	228	享保18・05・02	信濃国	上諱訪明神

表4.種類別納経所数

納経場所	寺社数
国分寺	50
一ノ宮	52
西国観音靈場	33
秩父観音靈場	32
坂東観音靈場	33
四国八十八靈場	74
八幡神社	11
有名社寺	80

No.	納経年月日	納経国	納経寺社	No.	納経年月日	納経国	納経寺社
229	享保18・05・24	信濃国	善光寺	305	享保20・04・26	武藏国	音楽寺
230	享保18・05・25	信濃国	戸隠山	306	享保20・04・26	武藏国	宝泉寺
231	享保18・06・07	信濃国	国分寺	307	享保20・04・26	武藏国	久昌寺
232	享保18・06・18	信濃国	浅間山明神	308	享保20・04・27	武藏国	円融寺
233	享保18・07・24	上野国	妙義権現	309	享保20・04・27	武藏国	大淵寺
234	享保18・07・25	上野国	拔鉢太神	310	享保20・04・27	武藏国	法雲寺
235	享保18・07・27	上野国	白岩山	311	享保20・04・28	武藏国	今宮坊
236	享保18・07・27	上野国	水沢寺	312	享保20・04・29	武藏国	法雲寺
237	享保18・07・—	上野国	国分寺	313	享保20・04・29	武藏国	法性寺
238	享保18・08・12	武藏国	慈恩寺	314	享保20・04・29	武藏国	長福寺
239	享保19・03・24	下総国	国分寺	315	享保20・04・29	武藏国	長水泉寺
240	享保19・03・25	下総国	千葉寺	316	享保20・07・06	近江国	宝嚴寺
241	享保19・03・25	上総国	国分寺	317	享保20・08・01	但馬国	妙見宮
242	享保19・03・26	上総国	笠森寺	318	享保20・08・07	因幡国	宇倍神社
243	享保19・04・01	上総国	高蔵寺	319	— · — · —	因幡国	国分寺
244	享保19・04・02	上総国	神野寺	320	享保20・08・15	伯耆国	倭文神社
245	享保19・04・04	安房国	国分寺	321	— · 10 · —	伯耆国	大山寺
246	享保19・04・04	安房国	那古寺	322	享保20・10・03	石見国	柿本明神
247	享保19・04・08	安房国	清澄寺	323	享保20・11・25	豊前国	國分寺
248	享保19・04・11	上総国	清水寺	324	享保20・12・01	豊前国	羅漢寺
249	享保19・04・12	上総国	東浪見寺	325	享保20・12・10	豊前国	宇佐八幡宮
250	享保19・04・14	上総国	玉崎山觀明寺	326	享保20・— · —	日向国	国分寺
251	享保19・04・18	下総国	円福寺	327	享保21・01・16	豊後国	由原八幡宮
252	享保19・04・23	下総国	香取神宮	328	享保21・01・16	豊後国	国分寺
253	享保19・04・23	下総国	竜正院	329	享保21・02・20	日向国	都農明神
254	享保19・04・24	下総国	成田山	330	享保21・02・28	日向国	平等寺
255	享保19・04・25	常陸国	大杉明神	331	享保21・03・10	日向国	鵜戸山權現
256	享保19・04・28	常陸国	鹿島神宮	332	享保21・03・18	大隅国	國分寺
257	享保19・05・02	常陸国	国分寺	333	享保21・03・18	大隅国	正八幡宮
258	享保19・05・03	常陸国	清滝寺	334	享保21・03・24	薩摩国	八幡新田宮
259	享保19・05・04	常陸国	筑波山	335	享保21・03・24	薩摩国	國分寺
260	享保19・05・07	常陸国	雨引山	336	享保21・04・01	肥後国	國分寺
261	享保19・05・09	下野国	西明寺	337	享保21・04・03	肥後国	八幡藤崎宮
262	享保19・05・10	常陸国	正福寺	338	享保21・04・10	肥後国	高良玉垂宮
263	享保19・05・13	常陸国	佐竹寺	339	享保21・04・10	肥後国	國分寺
264	享保19・05・18	常陸国	八溝山奥院	340	享保21・04・11	肥前国	千栗八幡宮
265	享保19・06・04	陸奥国	国分寺	341	享保21・04・12	肥前国	國分寺
266	享保19・06・05	陸奥国	塩籠明神	342	享保21・04・18	肥前国	黒髮山權現
267	享保19・07・01	出羽国	出羽三山	343	享保21・06・22	肥前国	國分寺
268	享保19・07・20	越後国	乙宝寺	344	元文元・06・22	肥前国	安樂寺天満宮
269	享保19・08・08	越後国	赤彦山明神	345	元文元・06・22	肥前国	箱崎八幡宮
270	享保19・08・08	佐渡国	小比叡山	346	元文元・06・26	肥前国	志賀三社明神
271	享保19・08・08	越後国	西生寺	347	元文元・07・10	長門国	住吉神宮
272	享保19・08・13	越後国	藏王権現	348	元文元・07・10	長門国	國分寺
273	享保19・09・07	上野国	迦葉山	349	元文元・07・19	周防国	玉祖明神
274	— · — · —	上野国	東雲寺	350	元文元・07・19	周防国	國分寺
275	享保19・10・25	下野国	岩船山	351	元文元・08・03	安芸国	巖島社
276	享保19・10・25	下野国	室八島	352	元文元・10・01	伊賀国	黄滝山
277	享保19・10・28	下野国	出流山	353	元文元・12・01	相模国	箱根権現
278	享保19・10・29	下野国	国分寺	354	元文元・12・13	武藏国	増上寺
279	享保19・11・17	下野国	円通寺				
280	享保19・11・20	下野国	大谷寺				
281	享保20・04・20	武藏国	長興寺				
282	享保20・04・22	武藏国	安樂寺				
283	享保20・04・23	武藏国	正法寺				
284	享保20・04・24	武藏国	慈光寺				
285	享保20・04・25	武藏国	妙音寺				
286	享保20・04・25	武藏国	真福寺				
287	享保20・04・25	武藏国	常泉寺				
288	享保20・04・25	武藏国	金昌寺				
289	享保20・04・25	武藏国	長興寺				
290	享保20・04・25	武藏国	卜雲寺				
291	享保20・04・25	武藏国	法長寺				
292	享保20・04・25	武藏国	西壽寺				
293	享保20・04・26	武藏国	大慈寺				
294	享保20・04・26	武藏国	常樂寺				
295	享保20・04・26	武藏国	野坂寺				
296	享保20・04・26	武藏国	慈眼寺				
297	享保20・04・26	武藏国	今宮坊				
298	享保20・04・26	武藏国	藏福寺				
299	享保20・04・26	武藏国	西光寺				
300	享保20・04・26	武藏国	定林寺				
301	享保20・04・26	武藏国	長生院				
302	享保20・04・26	武藏国	龍石寺				
303	享保20・04・26	武藏国	岩上				
304	享保20・04・26	武藏国	矢之堂				